

早稲田大学 人間科学部 世界史 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式
試験時間	90分
特徴・その他	問の数は75問と昨年と同じ。ページ数も11と同じ。地図問題は一昨年から昨年と大幅に易化したが、ついに今年は消滅した。空欄補充は期基本的な出題が目立ち、正誤判定に難問が散見される。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
<input type="checkbox"/>	石器時代・ヨーロッパ中世の農業	1 - への冶金術は世界史ではあまり使わない用語。同じ語群の中の焼結術も同様に答えにくい。 2の - c、櫛目文土器は北方ユーラシアに分布する幾何学文様をもつ土器。高校世界史の範囲ではないが、他の語群はみな旧石器時代の特徴なので消去法で正解が得られる。	標準
<input type="checkbox"/>	ムガル帝国・第一次大戦期中国の民族運動	設問X - (5)の『青年雑誌』は『新青年』の発刊当初の名称。設問Y - の(オ)、チンギス=ハンの西夏征服は1227年、燕京占領はそれ以前の1215年。のアフガン戦争は、第一次は英の事実上の完敗、第二次は辛勝、第三次は敗北である。は(ア)の同盟の規約に引き込まれると身動きできなくなる。(オ)の九カ国条約が間違いで、正しくは四カ国条約。	標準 (一部難)
<input type="checkbox"/>	古代の都市国家・主権国家体制の成立	空欄補充は極めて易しい。設問Y - のcは、「オリンポス12神が万物を司る」が誤り。例えば、酒と演劇の神ディオニソスは12神には含まれない。 のディオクレティアヌスは軍人皇帝時代を終らせた皇帝。のaはカール5世即位年の1515年が誤り。1519年が正しい。このカール5世即位年は13日の国際教養学部でも出題されていた。 のcの金印勅書は1356年が正しい。	標準 (一部難)

番号	出題内容	コメント	難易度
<input type="checkbox"/>	朝鮮史(古代～朝鮮王国)	空欄補充は極めて易しい。設問Y - の倭の五王関連は日本史的で厄介。倭王珍の北魏遣使は間違い。なかった話はいくらでも作れる。三国魏や隋への遣使が歴史的事実として有名なことから類推し、北魏への遣使がもしあったらそれなりの重要項目に違いないはずと類推する。 のdは大理国ではなく南詔国が正しい。 のbは木版印刷が正しい。	標準
<input type="checkbox"/>	ナポレオン・冷戦とドイツの分断	設問Yの は、事実上アミアンの和約(1802)とナポレオン法典(1804)の前後を問う問題。 のライン同盟の成立時は西南ドイツ諸邦16国であったが、ティルジット条約以後は中部・北部諸邦も参加して計36国となった。仏の傀儡であったが、併合されることはなかった。 のcの仏共産党は短期間ではあるが政権に加わった。 のaのドイツ連邦共和国(西独)成立は1948年5月成立、通貨改革は前年の48年6月。	やや難

〔総合コメント〕

空欄補充問題は易しいので失敗は許されない。差が出るのは正誤判定問題。とくに正誤の見極めが難しい問題のなかに年代を問うものが多い。年代は王朝の建国と滅亡・事件・戦争・条約などは当然のこと、大物君主の即位年も覚えておきたい。昨年もそうだったが、問題数の多さ、そして当然のことながら問題文の多さは受験生にとって大きな負担となる。微妙な正誤判定は何回か読み返すうちに判断が変わるのが常だが、この量では読み返ししている余裕はあまりない。問題文を早く読み込んで、手早く解答を得る訓練を積んでおきたい。